

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本通14丁目マンション	階数	地下1階 地上10階
建設地	札幌市白石区本通14丁目南2-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準工場地域、準防	平均居住人員	102人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年4月6日
敷地面積	885㎡	作成者	
建築面積	297㎡	確認日	
延床面積	2,978㎡	確認者	

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 54%
③上記+②以外の 54%
④上記+ 54%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合		A 省エネルギー
・周辺建物、環境との調和に配慮した。		・二重サッシ、断熱の強化による熱損失の低減
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
・外壁は磁器タイル、共用エントランスは、天然石貼など耐久性の高い材料を使用。	0	・駐車場をロードヒーティングし排雪作業負荷の軽減に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される